

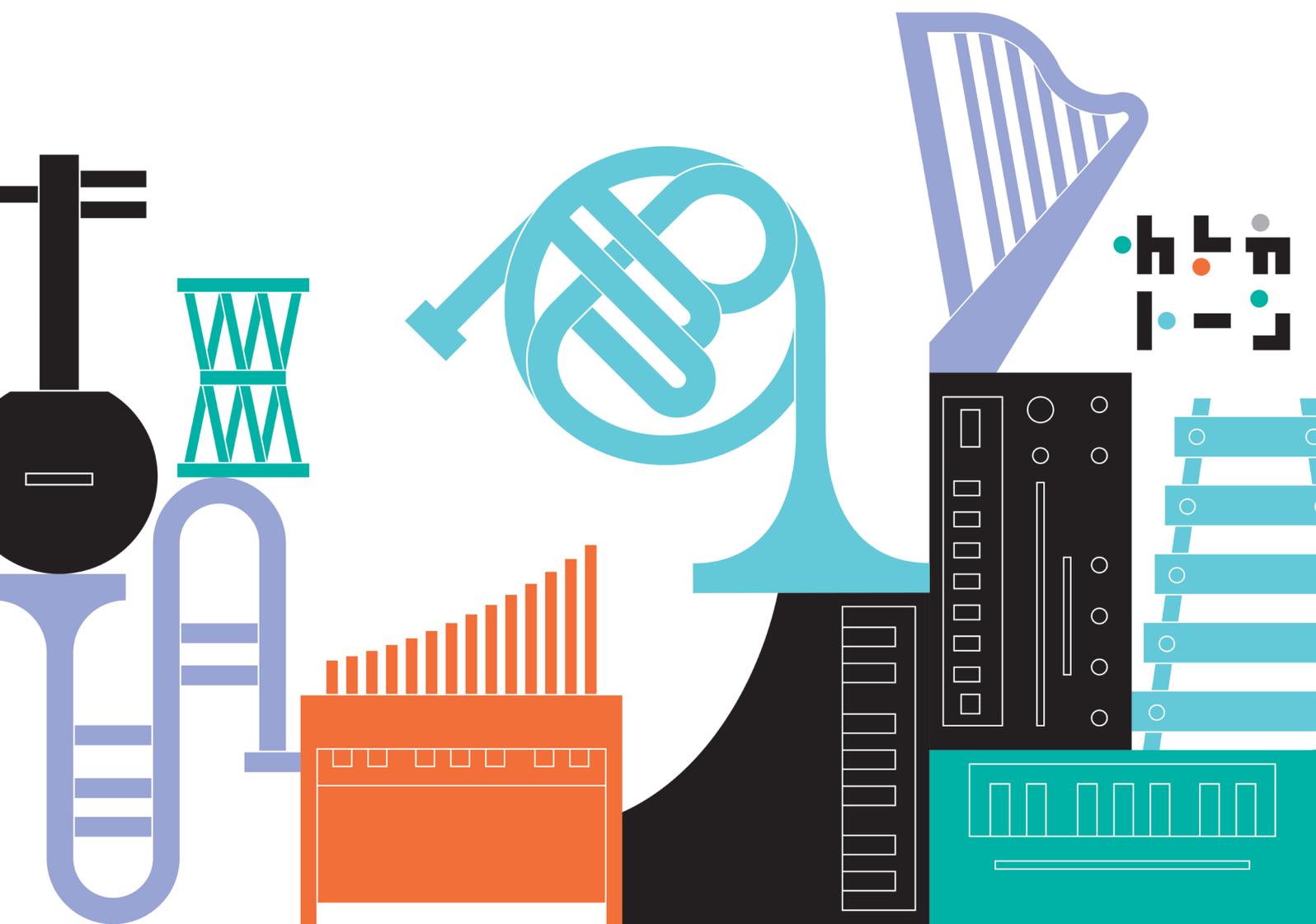
「小学生の音楽5」(令和6年度用～)
p.38「静かにねむれ」の和音で旋律づくり

「カトカトーン」の活用例や
オススメ情報をお届けします!

カトカトーン 通信

vol. 6

教育芸術社



「静かにねむれ」の和音で旋律づくり

STEP1

ktk ファイルを開く

カトカトーンを開き、「ファイルを開く」を選ぶ。



下記のファイル名を選択し、ktk ファイルを開く。



e5_kn6_sample.ktk

SUPPORT

- 課題制作のために事前に設定されたプロジェクトファイルは下の二次元コードからダウンロードできる。事前に児童に配布しておくとうい。
- このファイルでは、選択できる音を白鍵のみに制限している。画面下部の から設定を変更できる。



STEP2

和音と低音を聴いて、ひびきの移り変わりを感じ取る

STEP1 の ktk ファイルを再生し、つくる音楽をイメージする。



STEP1 でダウンロードした ktk ファイルは、トラック2とトラック3がミュート解除の状態になっているため、再生すれば和音と低音を聴くことができる

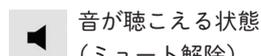
SUPPORT

- 音楽の再生方法について

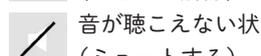


再生ボタン

- ミュート機能について



音が聴こえる状態
(ミュート解除)



音が聴こえない状態
(ミュートする)

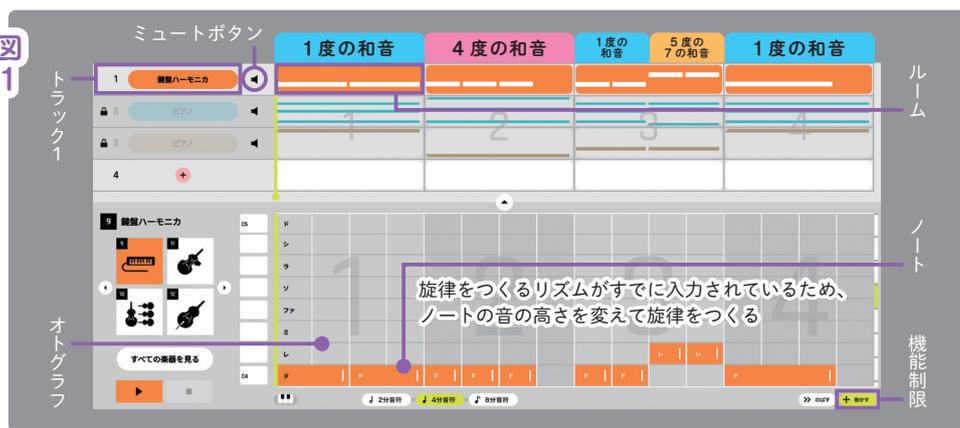
STEP3

和音と低音に合った4小節の旋律をつくる

和音にふくまれる音(参考①)の中から音を選び、トラック1に旋律をつくる。

《手順》

- ①トラック1のミュートを解除する(音が聴こえる状態にする)
- ②トラック1のオトグラフにすでに打ち込まれているノートのリズムで音の高さを変更させて旋律をつくる



POINT

和音と低音を聴いてどのようなイメージや感情が喚起されたか、このSTEPで考える時間を確保するとよい。カトカトーンを活用することで個々のタイミングでひびきを確認できるため、具体的なイメージを想像しやすくなる。

SUPPORT

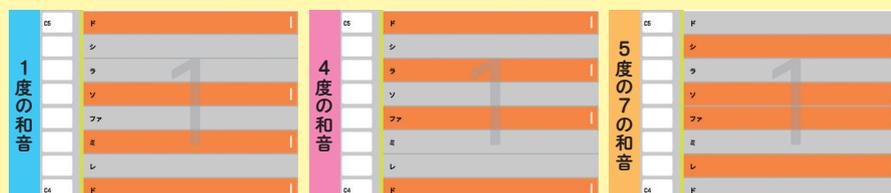
- 音の高さを変更するには、すでに用意されたノートを上下にドラッグして動かす。STEP1でダウンロードした ktk ファイルでは、図1の「機能制限 + 動かす」によって、打ち込んだ音の長さを変更できないように制限している。

- 使う音の高さを児童に伝える場合、オトグラフに表示される鍵盤(右図)のノートナンバーで伝えるとよい。音の入力時は、画面左上のミニディスプレイ(下図)からも音の高さを確認できる。

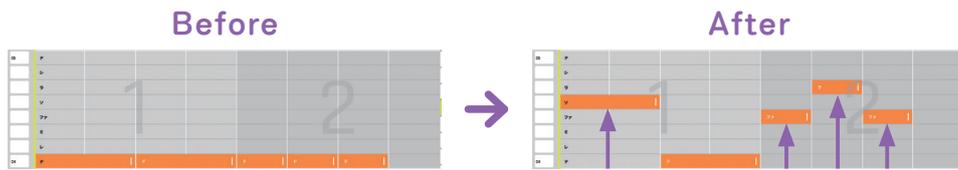


参考 ① 旋律づくりで選べる音 一覧 (和音別)

下図、または「小学生の音楽5」p.39 ワークシートに掲載の和音にふくまれる音から、旋律づくりで選べる音を参照する。



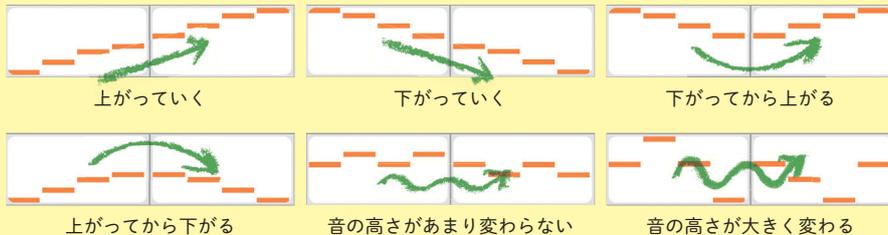
打ち込んだノートを動かしている様子



※旋律づくりの音の範囲は、C4～C5で行うことを基準とする

参考 ② 旋律づくりのヒント

音の上がり下がりやノートを表現する方法 (※ノートの打ち込みイメージ)



POINT

- 生み出された音の面白さに気付いたり、自身が表したい音のひびきの組み合わせを試したりすることで、音楽全体のまとまりを考える表現力が養われる。
- 音の上がり下がりが視覚化されることで、音楽の特徴を分析して理解することができる。即興的に音を探ることと並行して、どのような思いや意図をもって音楽をつくったかも、評価の一環として児童に考えさせる時間を用意するとよい。

ADVICE

トラック 1 (旋律) の楽器を変更してもよい。楽器の選択は「課題」には含まれないが、児童の興味・関心を高めるために活用するとよい。

SUPPORT

学習支援ソフトウェアを用いて楽譜(PDF)を提出させてもよい。または、ktk ファイルや、端末のスクリーンショット機能を活用して画像データとして提出させてもよい。学校の環境に合わせて、共有方法を検討する。ktk ファイルの保存方法は、巻末の「操作方法」に掲載している。

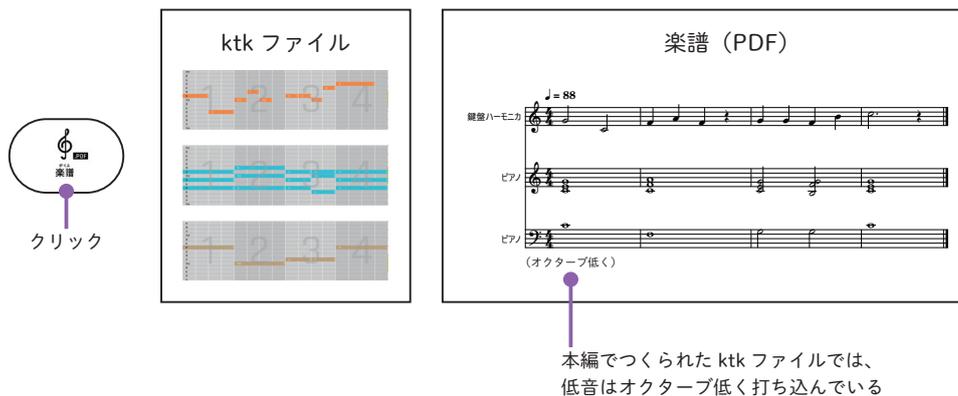
ADVICE

カトカトーンならではの楽器を選択できるほか、即興的にリズムパターンを加えることができるため、活動がより充実する。左図で例示したリズムパターンを変化させ、新たなリズムパターンを生み出し、表現の幅を広げることができる。

STEP 4

完成したファイルを楽し譜にして提出する

📁 ファイル ボタン内の【楽譜】ボタンから楽譜として書き出すことができる。



Challenge

リズムパターンを加えてみよう

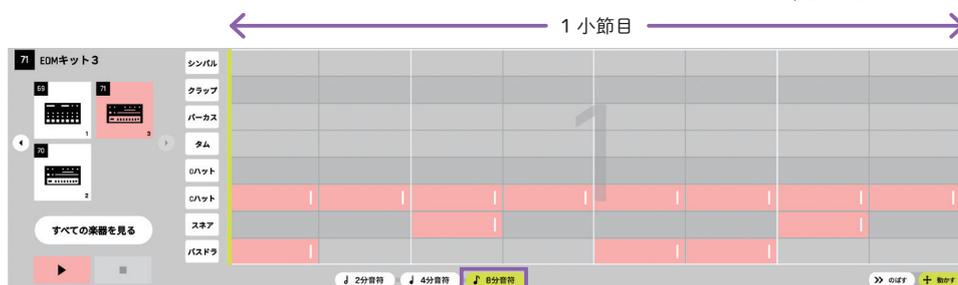
トラック 4 にリズムパターンを追加する。

《手順》

- ①好きなリズム楽器を追加する (例では EDM キット 3 を選択)
- ②1小節目のルームに下図のリズムパターンを打ち込む
- ③②で打ち込んだルームをドラッグして、2～4小節目にコピー & ペーストする



楽器を追加する



おたまちョップを「8分音符」に設定

SUPPORT : 操作上の補足説明
POINT : 指導上のポイント
ADVICE : 発展的な内容

ミニドリル

Q.1 C4の音を見つけ、1拍目に4分音符のノートをうちこもう。



Q.2 トラック2に入力されているノートを2倍の長さに変えよう。

Q.3 1小節の中にC4（ド）からC5（ド）までの、ハ長調の音階を低い音から順にうちこもう。（ヒント） | ♪♪♪♪♪♪♪♪ |

Q.4 1小節の中に右のリズムをうちこもう。（楽器は「すず」を使用）



Q.5 右の和音をうちこもう。（ヒント）一番低い音はC4（ド）



ミニドリルのやり方

① 回答用 ktk ファイルをダウンロードする



② 問題の答えをうちこむ

1	ピアノ	Q.1の答え
2	ピアノ	Q.2の答え
3	ピアノ	Q.3の答え
4	音楽キット	Q.4の答え
5	ピアノ	Q.5の答え

トラックごとに再生して音を確認する

③ 楽譜にして先生に提出する

ファイル ボタンをおして曲名を自分の名前に変更し、楽譜で書き出す。書き出した楽譜を先生に提出する。



ミニドリルを児童に配布する際は、本紙面をコピーしてから切り取ってご使用ください。

ミニドリルは、本紙のSTEPを始める前にウォーミングアップとして使用すると、音楽づくりの活動を進める際に効果的です。



ミニドリルの解答例
(楽譜 PDF、ktk ファイル)

操作方法

ktk ファイルの保存の仕方

①【ファイルボタン】



② タイトルを入力する



ファイルは、端末のダウンロードフォルダ等に保存される（ブラウザの設定で異なる）。



本編でつくられたファイル

本資料の二次元コードからアクセスできるデータは、以下の URL からご覧いただけます。

<https://www.kyogei.co.jp/katokatone/info/>

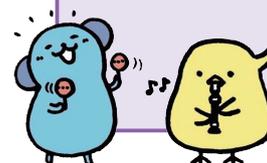


「カトカトーン」の詳細は右のウェブサイトをご参照ください。



カトカトーン4つのポイント

- WEBブラウザを通じて無料で使用できる
- 簡単な操作で打ち込みができる
- 100種類以上の音を選べる
- つくった音楽を共有できる



2024年11月発行

株式会社 教育芸術社

〒171-0051

東京都豊島区長崎1丁目12番14号

Tel : 03-3957-1175 (代)

Fax : 03-3957-1174

